



Hiroshima.pref

広島県

令和2年度(案)

関連

「広島県中山間地域振興計画」

ひと。しごと。くらし。100年先の未来につなごう

事業

1 令和2年度の基本的な方向

- 平成26年度に策定した「中山間地域振興計画」に基づき、地域に暮らす方々が、将来に希望を持ち、「笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域」を目指して、多様な力でつながる《人》づくり、夢をカタチにできる《仕事》づくり、安心を支える《生活環境》づくりの3つを柱に、これまで関連施策を総合的に展開してきました。
- とりわけ、活力の源泉となる人づくりについては、将来を担う若手リーダーの発掘・育成に重点を置いて、地域づくりに取り組む人材のプラットフォームを基盤に、実践者の広域的なネットワークづくりを進めてきた結果、地域課題の解決に向けた新しい取組が中山間地域全域に広がってきており、活性化につながる成長の芽は着実に育ちつつあります。
- こうした中で、令和2年度は、現計画の最終年を迎えることとなりますが、本格的な人口減少社会の到来を前に、地域では高齢化が大きく進み、全国的にも中山間地域における活力の急速な低下が懸念されているところです。このような状況を踏まえ、次期計画に向けては、地域の現状を詳細に把握しつつ、並行して、新たな行政需要の検討を進め、地域で暮らす皆様が、将来にわたって、笑顔で安心して暮らし続けることができる中山間地域の実現を目指してまいります。
- また、新たな潮流として、急速に開発が進みつつあるデジタル化社会の到来は、中山間地域の課題解決に向けた大きな可能性を秘めており、デジタル技術の進展が暮らしにより良い変化を生み出し、中山間地域に新しい展望が描けるよう、市町と連携しつつ着実に取組を進めてまいります。

「中山間地域振興計画」関連主要事業の予算額

R元年度との比較 **R元** 86.3億円 ⇒ **R2** 88.6億円 (2.3億円増)
※平成30年度2月補正(5.3億円)を含む ※令和元年度2月補正(3.0億円)を含む

H20年度との比較 **H20** 51.3億円 ⇒ **R2** 88.6億円 (1.7倍)
※ 新たな過疎対策を重点分野と位置付けた初の予算

注) 事業費は、「中山間地域振興計画」に基づき、主に中山間地域に関わりの深い事業の事業費を合計したものであり、その他の「県内全域を対象に取り組む関連事業」の事業費は、別途(参考)として一覧にまとめている。

2 計画の目指す姿と3つの視点

目指す姿

里山・里海に象徴される人と自然が作り出す中山間地域ならではの環境が、内外の人々により引き継がれる中で、

将来に希望を持ち、安心して心豊かに、
笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

3つの視点

視点①

地域の基盤や特性を強みとして活かす

～豊かな資源や人のつながりなど、それぞれの地域が有する基盤や特性に光を当て、強みとして活かし、その魅力や豊かさを向上させる視点

視点②

価値に共鳴する人を増やす

～中山間地域の価値を高めることの大切さに共鳴する地域内外の人を増やしていく視点

視点③

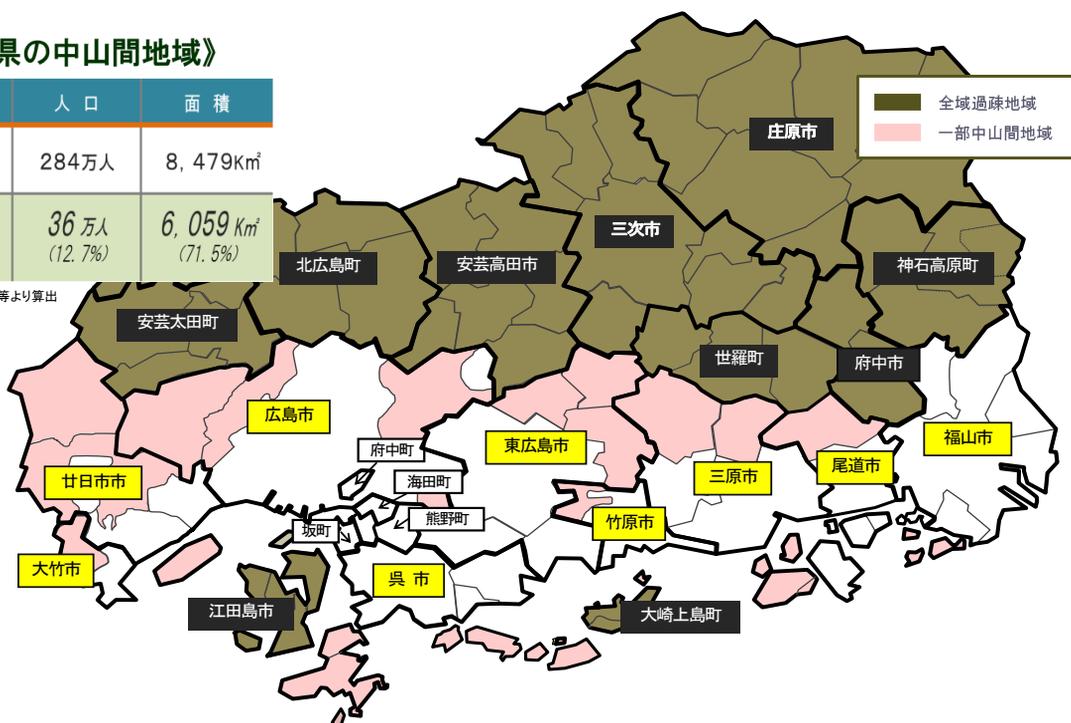
現在の暮らしを支える

～地域に住み続ける県民が、安心して生活を送ることができるよう、現在、営まれている地域の暮らしを支える視点

《広島県の中山間地域》

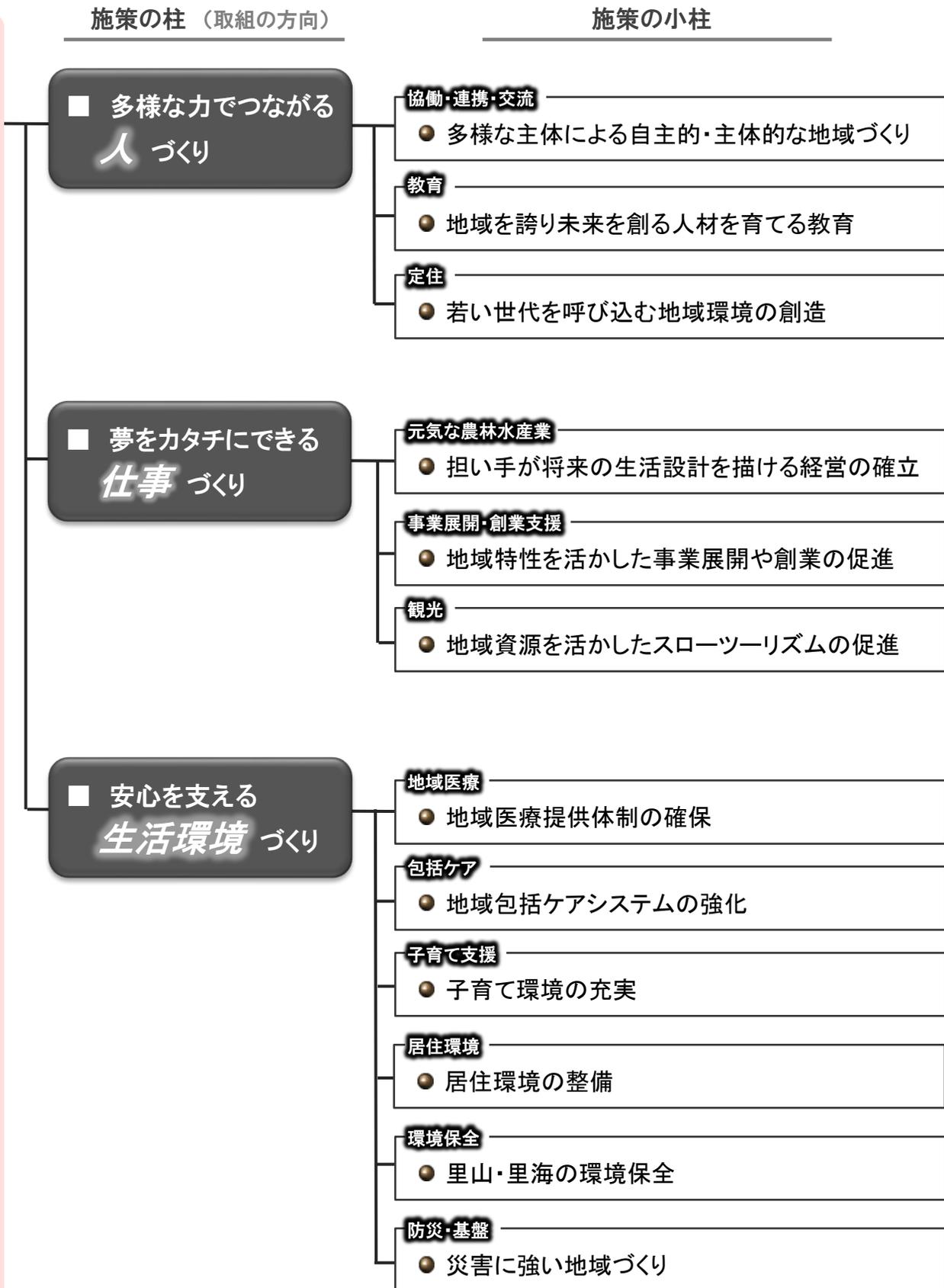
| 区分 | 人口 | 面積 |
|--------------|-----------------|----------------------------------|
| 県 | 284万人 | 8,479Km ² |
| 中山間 (構成比) | 36万人 (12.7%) | 6,059 Km ² (71.5%) |

H27国勢調査等より算出



3 計画に基づく施策体系

将来に希望を持ち、安心して心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域



4 計画の推進に向けた施策の柱別の主な取組

(1) 多様な力でつながる 人づくり

R2 主な事業費 **3.8 億円**

目指す姿

「中山間地域振興計画」(抜粋)

- ◆ 中山間地域の価値に共鳴する人たちの外部からの移住が進むとともに、地域を支えるリーダーや地域内外の人たちの意志と活力、ネットワークによって、自主的・主体的な活動が幅広く展開されています。
- ◆ また、地域の将来を見据え、学校と地域が連携して未来を創る人材の能力や才能を伸ばす機会が確保され、将来の地域の担い手が育成される環境が整っています。

《目指す姿を実現するための施策》

協働・連携・交流

① 多様な主体による 自主的・主体的な地域づくり

主な枠組み

- 地域における《つながり力》の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり
- 里山・里海体験交流の促進

教育

② 地域を誇り 未来を創る人材を育てる教育

主な枠組み

- 地域の次代を担う人材の育成
- 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり
- 地域スポーツの振興

定住

③ 若い世代を呼び込む 地域環境の創造

主な枠組み

- 首都圏等からのU・Iターンの促進
- 多業を实践する人材(マルチワーカー)を
応援する仕組みづくり

「※一部」は、全体事業費のうち中山間地域に関わりの深い部分を対象。以下同じ。

① 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

人口減少や少子高齢化が進む中山間地域を支えていくためには、地域づくりの原動力となる多様な人材の活動を一層活発化させる必要がある。

このため、中山間地域全域に広がりを見せている実践活動の継続・発展を積極的に後押しするとともに、地域リーダーの更なる拡大に向けて、新たな人材の育成・確保に取り組む。

| 主な指標 | 目標水準 |
|----------------------|------------------------|
| ◇ 地域づくり活動をリードする人材の育成 | (H30) 294人 ⇒ (R2) 360人 |

【施策の主な枠組み】

● 地域における《つながり力》の強化と活躍人材の育成・ネットワークづくり

これまで発掘・育成してきた中山間地域の地域づくりリーダーの活動が主体的かつ継続的に展開され、中山間地域が抱える様々な課題の解決につながるよう支援を行うとともに、新たな人材の育成・確保に向けた取組を推進

また、地域が抱える生活課題の早期発見から解決までを着実に導くため、多様な主体が連携・協働して取り組むための仕組みと土壌づくりを推進

■ ひろしま里山・人材力加速化事業【一部新規】 38百万円

〔チーム500を活用した活動の活性化〕

注）インターネット上で多数の人から資金を募る仕組み

- ・産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言
- ・自主的な活動実践に向けたクラウドファンディング(注)活用支援
- ・中山間地域の活動実践者のプラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の運営
- ・実践者と支援者が双方向でつながるためのウェブサイトの構築
- ・地域づくり実践者の相談窓口となる「サポートデスク」の設置

〔新たな人材の育成・機運醸成〕

- ・地域リーダーの育成に向けた「ひろしま《ひと・夢》未来塾」(第6期)の開講
- ・地域づくり実践者、参加者による意見交換を行う「里山ココロザシ・カフェ」の開催 等

■ ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト 19百万円

- ・首都圏での事業説明会、セミナー等の実施
- ・現地実習の実施（6市町程度）
- ・参加者による実践プランのプレゼンテーションの実施

■ 地域共生社会推進事業【新規】 ※一部 1百万円

- ・地域共生プラットフォームの設置
- ・地域の福祉課題と支援者のマッチングによる活動プロジェクトの創出

● 里山・里海体験交流の促進

豊かな自然や伝統文化，農山漁村での生活体験など，中山間地域ならではの特色を強みとして活かした交流を促進するため，農山漁村生活体験ホームステイの受入に向けた市町等の取組を支援

■「山・海・島」体験活動ステップアップ事業 37百万円

- ・体験活動専門指導員，看護師，特別な配慮が必要な児童への支援員の派遣に関する経費補助
- ・体験活動に引率する教職員の旅費の支援
- ・連絡協議会や実践発表会の開催

② 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

地域の将来の担い手となる子供が、次世代のリーダーとして、将来にわたって活躍するためには、地域への理解や愛着を深めることが重要であり、地域や市町と連携して、各学校における地域の特色を活かした教育活動を支援する。

また、スポーツの様々な力を活用し、地域・経済の活性化につなげていくため、スポーツを核とした地域づくりに取り組む。

| 主な指標 | 目標水準 |
|--|-----------------------------|
| ◇ 地域に貢献しようとする意欲を持っている 中山間地域の県立高校生徒の割合 | (H30) 58.0% ⇒ (R2) 80.0% |

【施策の主な枠組み】

● 地域の次代を担う人材の育成

中山間地域の次代を担う高校生が、地域・市町と一体となり、地域の活性化に向けた取組を行うことを通して、地域に貢献しようとする意欲の向上を図り、地域の次世代のリーダーとして活躍できる人材となるよう支援

■ 中山間地域の次世代を担うリーダーの育成 (非予算)

・学校、地域関係者、市町によるプロジェクト・チームで作成した地域活性化プランの実施・継続

● 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり

平成26年2月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」(平成26年度～平成35年度)を着実に推進し、地域の特性や社会のニーズに対応した魅力ある高等学校を整備

■ 魅力ある高校づくり推進事業 7百万円

・1学年1学級規模校等の活性化に向けた取組に対する支援
・「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」の推進に係る調査・研究

(その他の関連事業)

- 小中学校教育環境充実支援事業

● 地域スポーツの振興

次期「広島県スポーツ推進計画」に基づき、競技力の向上やスポーツ参画人口の拡大などのスポーツ振興のみならず、スポーツの様々な力を活用し、地域住民の健康増進や、地域・経済の活性化など、スポーツを核とした地域づくりを推進

■メキシコ選手団等事前合宿受入推進事業【一部新規】 ※一部 74百万円

・合宿受入を契機としたスポーツを始めとする多彩な交流の実施に向けた支援

| | | |
|-----------|-------|---|
| メキシコ合衆国 ～ | 広島市 | テニス, アーティスティックスイミング, 体操 サッカー, ボクシング, <u>パラ陸上</u> , <u>パラ水泳</u> |
| | 呉市 | バレーボール |
| | 廿日市市 | 柔道, 空手, バスケットボール, <u>パラ柔道</u> |
| | 東広島市 | 卓球, レスリング, ゴルフ |
| | 福山市 | 競泳, 飛込, トライアスロン, スポーツクライミング, バドミントン, フェンシング, カヌー, ボート |
| | 三原市 | 自転車競技 |
| | 尾道市 | ソフトボール, 自転車競技 |
| | 府中市 | <u>パラ卓球</u> , <u>ボッチャ</u> |
| | 三次市 | 陸上競技, 野球 |
| | 安芸太田町 | 射撃 |
| ドミニカ共和国 ～ | 北広島町 | 柔道, 陸上競技 |
| キューバ共和国 ～ | 広島市 | 野球 |

注) 下線のあるものはパラリンピック競技種目

(その他の関連事業)

- スポーツを活用した地域活性化推進事業【一部新規】 ※一部

③ 若い世代を呼び込む地域環境の創造

若い世代の流出が続く中山間地域において、東京圏等から広島への新しい人の流れを生み出していくため、自然と都市が融合した広島らしいライフスタイルを広く紹介し、本県への移住に向けた検討を促すとともに、個々の移住希望者の具体的なニーズに応じたきめ細かなサポートや、県内各地の空き家の掘り起こしなど、定住の受け皿づくりを市町や関係団体等と一体となって進める。

| 主な指標 | 目標水準 |
|---------------------------|--------------------------|
| ◇ 県外からの定住世帯数 (定住施策捕捉分) | (H30) 177世帯 ⇒ (R2) 403世帯 |

【施策の主な枠組み】

● 首都圏等からのU・Iターンの促進

東京圏で高まりつつある地方移住の機運を取り込み、移住・定住につなげる仕組みづくりを推進するため、ホームページやデジタルマーケティングを用いた広島らしいライフスタイルの魅力発信やAIを活用した相談対応システムによるマッチング及び空き家の有効活用に向けた取組などを推進

■ひろしまスタイル定住促進事業 88百万円

【広島らしいライフスタイルの魅力発信】

- ・デジタルマーケティングの手法を用いた情報発信
- ・ホームページによる情報発信
- ・市町や企業等と連携した定住フェアの実施

【移住希望者と地域のマッチング】

- ・相談窓口の運営，相談者の来広支援
- ・AIを活用した相談対応システムの運用

【移住者に対する受け皿づくり】

- ・関係機関との移住者の受け皿となる仕組みづくり
- ・交流定住促進協議会への参画

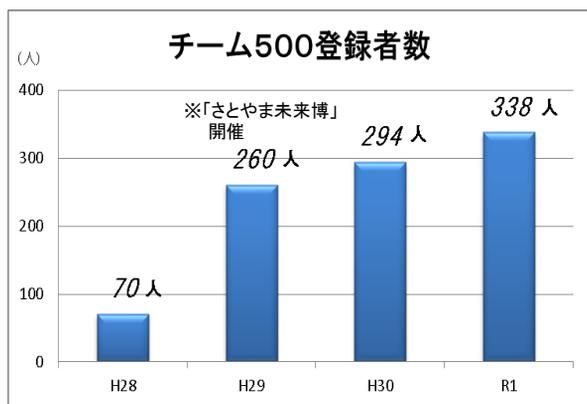
■空き家活用検討事業 8百万円

- ・空き家バンクHPによる情報発信，市町や地域への専門家派遣 等

《トピックス》

■ 中山間地域の将来をリードする人材が増加しています

これまでに実施した「さとやま未来博」や「ひろしま『ひと・夢』未来塾」などの「人づくり」の取組により、県内各地に地域づくりに主体的に関わろうとする実践者が増加

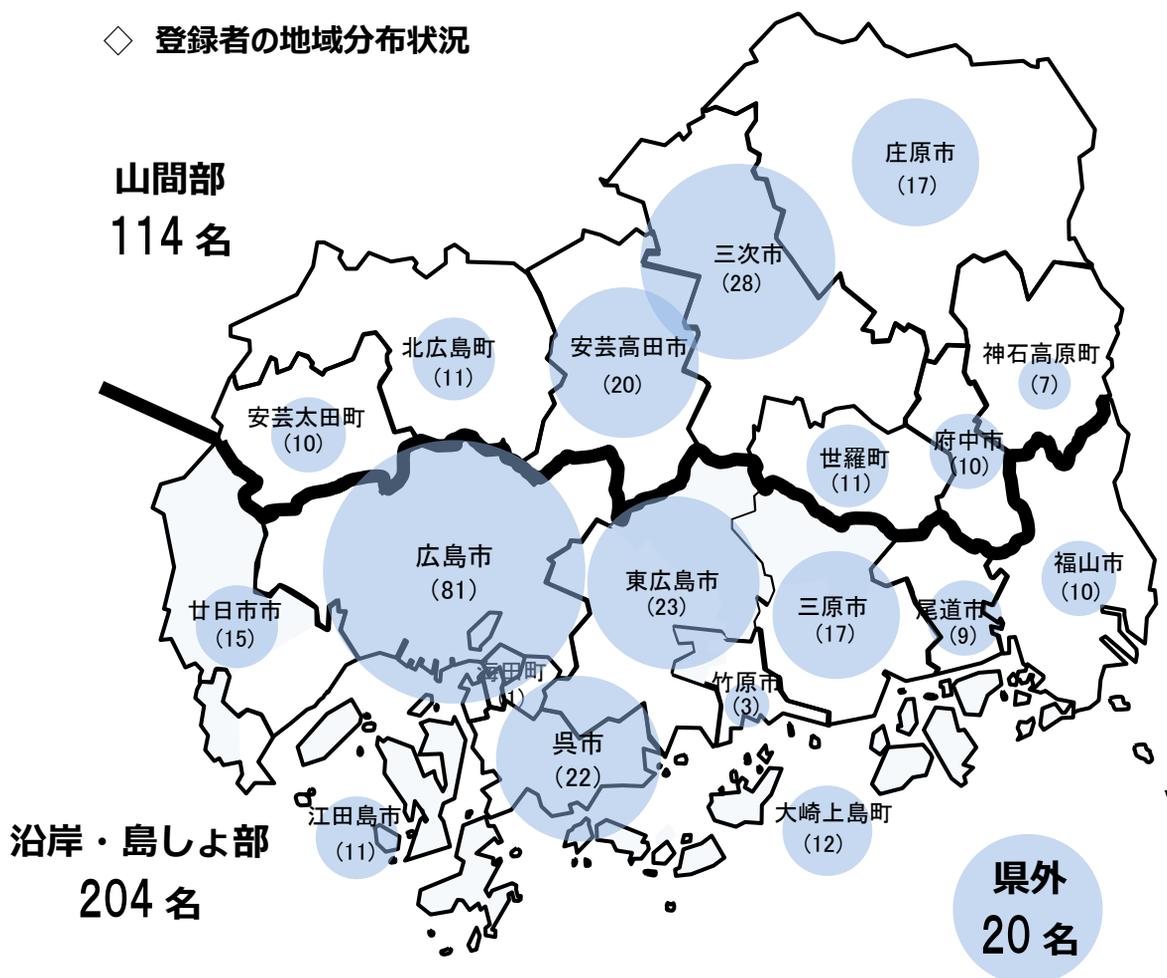


令和元年度は12月末現在

【ひろしま里山・チーム500(ゴー・マルマル)】

| | |
|------|--|
| 概要 | 地域づくりをリードする人材の活動継続やネットワークの拡大を支援するための人材プラットフォーム |
| 設立日 | 平成28年12月20日 |
| 登録者数 | H28: 70 人 → R1: 338 人(12月末現在) |
| 登録要件 | 地域づくりの取組を自ら企画し、年1回以上実施していること |

◇ 登録者の地域分布状況



《トピックス》

■ チーム500登録者による多様な取組が広がっています

地域づくりに意欲を持った新しい力が加わり、薪を使った地域内資源の循環や若い世代による移住者の受入に向けた活動など、中山間地域に変化を起こそうとする取組が拡大

資源循環

▣ 地域に埋もれた資源を生かしてビジネスで循環

● 豊栄羊毛プロジェクト

《東広島市》～豊栄町

捨てられていた羊毛を引き取り、羊毛製品の販売や糸紡ぎ体験ワークショップ等を実施



● 里山エネルギーグループ

《三次市》

手つかずとなっていた山林の間伐材を使った薪によるビジネスの展開



復活・再生

▣ 地域の伝統や資源を復活させてコミュニティを再生

● 「柿の経済」復活プロジェクト

《尾道市》～御調町

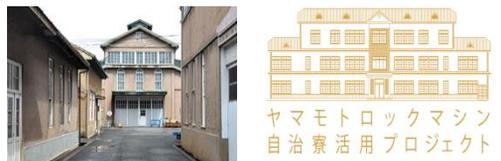
かつて、渋柿の一大産地として栄えた地域において、渋柿の加工品を復活



● ヤマトロックマシン自治寮活用プロジェクト

《庄原市》

かつて、地域コミュニティの中心であった歴史的建造物を地域内外の人が集う拠点として再生



移住受入

▣ 外部から若い世代を呼び込むゲストハウスを運営

● 移住体験シェアハウス「Be a Family」

《呉市》～下蒲刈町

とびしま海道の起点となる下蒲刈町で空き家をシェアハウスとして再生し、移住者を受け入れ



● ハコブネプロジェクト

《大崎上島町》

空き家をゲストハウスとしてリノベーションし、地域外からの人材受入れのハブとして運営



《トピックス》

■ 若い世代のUターン希望者が増えています

平成26年に東京(有楽町)に開設した「ひろしま暮らしサポートセンター」では、若い世代を中心とした移住相談が5年間で大きく増加

今後、潜在的に移住の可能性のある層に対して、新たに構築したデジタルマーケティングやAI技術を活用した移住相談システムによる移住相談を展開

【年代別移住相談者の割合】

| 年 度 | H 2 6 | H 3 0 |
|-------|--------------|----------------|
| 相談件数 | 816 件 | 2,882 件 |
| 20代まで | 11.5% | 21.5% |
| 30代 | 35.4% | 29.6% |
| 40代 | 22.5% | 23.6% |
| 50代 | 21.9% | 16.9% |
| 60代以上 | 8.6% | 8.4% |



ひろしま暮らしサポートセンター



角幡 彩さん(東京→呉・下蒲刈)



後藤 峻さん(東京→江田島)



深澤 裕之さん(東京→呉・豊)

【AIを活用した移住相談アプリ】

| | |
|------------------|--|
| 名 称 | ひろしまライフスタイル「あびいちゃん」 |
| 運 用 | 試験運用 : 令和元年11月下旬からスタート 本格運用 : 令和2年夏頃 |
| 登録者数 ※R2.1末現在 | 556人 (令和元年度目標 675人) |
| 特 徴 | <ul style="list-style-type: none"> 東京相談員のノウハウである、「相談者に寄り添った対話」により、移住情報を提供 東京相談窓口や企業情報など、リアルな受け皿へ案内 |

出身都道府県 必須

-選択-

居住都道府県 必須

-選択-

地方で一番叶えたいこと ✔

自分らしい働き方

これまでの情報収集と相談の状況

情報収集

移住希望時期

来年くらい

関心のあること、気になること

古民家暮らしや農業に興味があります。

[登録 >](#)



あびいちゃん

【2月補正含む】

(2) 夢をカタチにできる **仕事** づくりR2 主な事業費 **56.1 億円****目指す姿**

「中山間地域振興計画」(抜粋)

- ◆ 中山間地域に暮らしながら、多様な人たちが、地域ならではの資源や基盤を活かして、新たな事業にチャレンジできる環境が整っています。
- ◆ また、地域資源を活かした魅力ある観光地づくりや体験型メニューが充実し、里山・里海ならではのスロートーリズムが浸透しています。

《目指す姿を実現するための施策》

元気な農林水産業

① 担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立

主な枠組み

- 農業 ～担い手の経営力強化と県産農産物の生産拡大
- 畜産業 ～広島和牛の生産拡大
- 林業 ～競争力のある県産材の供給体制の構築
- 水産業 ～特色ある瀬戸内地魚のブランド化と
かき生産体制の構造改革
- 産消連携・6次産業化の推進
- 持続的な農業生産活動の推進

事業展開・創業支援

② 地域特性を活かした事業展開や創業の促進

主な枠組み

- 地域《しごと創生》に向けたチャレンジ支援
- 雇用機会の創出・就業促進

観光

③ 地域資源を活かしたスロートーリズムの促進

主な枠組み

- 魅力ある観光地づくりと観光情報発信の強化
- 体験型観光の推進

① 担い手が将来の生活設計を描ける経営の確立

中山間地域において、農林水産業が所得や雇用を生み出す地域産業の核となるためには、担い手が将来の生活設計を描くことができ、安心して就業ができる経営環境を構築する必要がある。

そのため、園芸産地の拡大とそれを支える担い手の確保・育成の推進、木材需要の創出や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築及び地域の核となる魚種の集中放流などに取り組む。

また、農林水産業のグローバル化による影響も考慮しつつ、担い手の経営力の強化を図るため、デジタル技術の導入による農業生産性の向上、広島和牛の競争力強化、農林水産物のブランド化・高付加価値化などに取り組む。

| 主な指標 | 目標水準 |
|---------------------------------|---|
| (農業) ◇ 農産物の生産額(畜産除く) | (H30) 712億円 ⇒ (R2) 709億円 |
| (畜産業) ◇ 広島和牛出荷頭数 | (H30) 3,500頭 ⇒ (R2) 6,000頭 |
| (林業) ◇ 県産材(スギ・ヒノキ)生産量 | (H30) 32.9万m ³ /年 ⇒ (R2) 40.0万m ³ /年 |
| (水産業) ◇ 担い手グループ数 ◇ かき生産額 | (H30) 29グループ ⇒ (R2) 33グループ (H30) 169億円 ⇒ (R2) 180億円 |
| (産消連携・6次産業化の推進) ◇ 6次産業化の市場規模 | (H29) 196億円 ⇒ (R2) 220億円 |
| (持続的な農業生産活動の推進) ◇ 農作物鳥獣被害額 | (H30) 389百万円 ⇒ (R2) 350百万円 |

【施策の主な枠組み】

● 農業 ～担い手の経営力強化と県産農産物の生産拡大

農産物の生産額の増加を図るため、大規模な農業参入意向のある企業への農業参入や経営規模の拡大を目指す経営体の企業経営への転換、スマート農業技術を活用した生産性向上の取組を支援するとともに、担い手の経営発展や園芸産地等の拡大を加速化させるため、担い手への農地集積や経営リスク軽減などを一体的に支援

■ 企業連携型農業参入促進事業 24百万円

- ・大規模な農業参入意向を持つ県内食品関連企業と全国の先進的農業企業の連携支援等

■ 経営力向上支援事業【一部新規】 86百万円

- ・人材育成、予算・実績管理など重点課題の解決に向け専門家を派遣
- ・県立広島大学との連携による農業MBAスクールを開講
- ・生産性の高い栽培技術を確立するためのハウスレモン等の環境制御技術の実証 等

■ ひろしま農業創生事業 ※一部 43百万円

- ・園芸品目の作付を行う担い手に農地を貸し付ける所有者等に対し、協力金を交付
- ・担い手の経営リスクを軽減し、園芸品目等の導入を図るためのリース事業を支援

● 畜産業 ～広島和牛の生産拡大

持続可能な和牛生産体制の構築に向けて、乳用牛への受精卵移植による和牛の増産や肥育経営体への安定的な受精卵産子の供給に向けた仕組みの構築 等

■ 広島和牛経営発展促進事業 14百万円

- ・高い受胎率が期待できる和牛受精卵の供給の実施
- ・酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定の拡大に向けた取組
- ・畜産経営体の経営発展課題を解決するための指導 等

■ 畜産競争力強化対策事業【新規】 74百万円【2月補正】

- ・生産合理化による経営力向上を図るための施設整備(成鶏舎等)に対する助成

● 林業 ～競争力のある県産材の供給体制の構築

林業・木材産業の成長産業化の実現のため、木材需要の創出対策や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築について、川上から川下までの総合的な取組を実施

■ 林業・木材産業等競争力強化対策事業【一部新規】 221百万円【2月補正を含む】

- ・間伐材生産、路網整備、高性能林業機械等の導入の支援
- ・木材製品の国際競争力強化に資する間伐材生産、路網整備を支援

■ ニホンジカ被害拡大抑制対策事業【新規】 37百万円

- ・モデル地区においてIoT技術を活用した調査及び捕獲方法の検証
- ・林業経営者等を対象とした、シカ被害対策への理解を深める研修の実施

● 水産業 ～特色ある瀬戸内地魚のブランド化とかき生産体制の構造改革

漁獲量の増加に向けた、地域の核となる魚種の集中放流等による水産資源の増大と漁業就業者研修やリース漁船の導入を支援

また、広島かきの安定的な生産に向けて、かきの種苗不調の原因分析を踏まえた、科学的な根拠に基づく種苗の確保対策を確立

■瀬戸内水産資源増大対策事業 40百万円

- ・重点魚種(ガザミ、カサゴ、オニオコゼ、キジハタ)の集中放流及び放流効果の調査
- ・就業から経営の確立まで一貫した研修やリース漁船の導入を支援

■広島かき養殖安定化対策事業 10百万円

- ・広島湾のかき幼生の分布動態調査及び漁場環境調査の実施
- ・海域調査データの分析・対策の検討
- ・かきの産卵誘発技術の開発

● 産消連携・6次産業化の推進

販売力の強化を通じた担い手の所得向上を図るため、県産農林水産物等の登録制度や県内外での販路開拓を推進するとともに、2次・3次事業者との連携による農林水産物のブランド化・高付加価値化を促進

■6次産業化総合支援事業 67百万円

- ・6次産業化に向けた加工施設整備、新商品開発等を支援
- ・県産農林水産物等を対象とする「広島県産応援登録制度」の運営及び販路開拓等

● 持続的な農業生産活動の推進

効果的な鳥獣被害防止対策を推進するため、市町単位で人材育成や被害防止施設等の対策を重点的に実施するとともに、持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための活動を支援

■鳥獣害に強い集落等育成推進事業 121百万円

- ・鳥獣被害対策指導者等の育成や捕獲技術の向上を図るための各種研修等の実施

■農業・農村多面的機能支払事業 953百万円

- ・持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や道水路や農村環境の適切な保全活動を支援

② 地域特性を活かした事業展開や創業の促進

事業所や商店の閉鎖等により就業の場が減少している中山間地域においては、これまで取り組んできた雇用対策等に加え、新たな就業機会を生み出していく必要があるため、中山間地域ならではの資源を強みとしたサテライトオフィスの誘致促進や、外部人材を活用した中小企業の経営強化に向けた取組を支援する。

| 主な指標 | 目標水準 |
|----------------------|---------------------------------|
| ◇ 年間創業件数 (全域過疎市町) | (H30) 18件 ⇒ (R2) H25の水準(25件)を確保 |

【施策の主な枠組み】

● 地域《しごと創生》に向けたチャレンジ支援

廃校施設や古民家などの既存施設を活かして、企業のサテライトオフィスの誘致等に取り組む市町を支援するとともに、中山間地域における多様な働き方のイメージアップと定着を図るための情報発信を促進

また、中小企業が外部人材を活用して経営課題に継続的に取り組んでいくための意識啓発を市町と連携して推進

■ チャレンジ・里山ワーク拡大事業 35百万円

- ・地方進出に関心の高い企業への誘致活動の展開
- ・市町が行う誘致・受入体制の強化に対する支援
- ・ホームページ運営, Web広告の配信, 首都圏広報の強化 等

■ 中山間地域外部人材活用支援事業【新規】 8百万円

- ・外部人材の活用に向けて市町が開催するセミナーへの講師等の派遣
- ・参加企業を対象としたアンケート調査
- ・首都圏の外部人材と中山間地域の企業のマッチングの仕組みづくりを検討

● 雇用機会の創出・就業支援

中山間地域への企業誘致を促進するため、当地域への立地企業に対する雇用奨励金を拡充する市町への支援等

■ 企業立地促進対策事業 ※一部 172百万円

- ・市町が中山間地域で雇用奨励金制度を拡充させる場合に、その一部を補助(市町補助)
- ・情報サービス業等のオフィス誘致における市町の補助(賃料・通信回線使用料)と同額を補助
- ・工場や試験研究施設など、企業が県内へ設備投資を行う場合に、その一部を補助

③ 地域資源を活かしたスロートーリズムの促進

里山・里海の豊かな自然や伝統文化など、中山間地域ならではの観光資源を効果的に活かした誘客と周遊促進を図るため、観光客のニーズに応じた多様なプロダクトの開発支援等を行うとともに、冬季スキーなど、中山間地域の特色を活かした観光客の誘致促進を図る。

| 主な指標 | 目標水準 |
|-----------------------|---|
| ◇ 年間総観光客数 (全域過疎市町) | (H30) 1,515万人⇒(R2) 被災前の水準を確保 (H29実績 1,584万人) |

【施策の主な枠組み】

● 魅力ある観光地づくりと観光情報発信の強化

観光客の滞在時間の延長や周遊促進を図り、より多くの観光消費の機会を提供するため、観光客のニーズに応じた多様なプロダクトの開発支援等を促進

■ 観光地ひろしま推進事業【一部新規】 ※一部 183百万円

- ・市町等が行う観光プロダクト開発への支援
- ・民間事業者等の企画・開発力を活用した観光プロダクト開発
- ・トイレの整備等受入環境整備への支援 等

■ 広島島根連携・冬季誘客促進事業 15百万円

- ・広島県・島根県において、広域周遊観光の促進を図るための共同事業の実施
- ・関係市町及び県内全スキー場と連携した冬季誘客のためのプロモーション等の実施

(その他の関連事業)

- 尾道松江線周辺地域活性化促進事業

《トピックス》

■ 大崎上島町にサテライトオフィスが開設されました

廃校施設などの地域資源を活用した、中山間地域への企業のサテライトオフィス誘致に県と市町が連携して取り組んだ結果、「ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社」(愛知県名古屋市)が、「お試しオフィス」の利用を経て、大崎上島町にサテライトオフィスを開設

【進出企業の概要】

| | |
|------|-------------------------------|
| 企業名 | ポッカサッポロフード&ビバレッジ株 |
| 開設日 | 令和元年10月2日 |
| 開設場所 | 大崎上島町中野（空き家活用） |
| 利用形態 | 巡回型サテライトオフィス (社員2名が定期的に滞在) |
| 業務内容 | ・生産者や関係機関との連携業務 ・自社園地の管理業務 |



サテライトオフィス(内観)

ポッカサッポロフード&ビバレッジ社
レモン園地

◇ 「お試しオフィス」整備市町(注)



【大崎上島町】

お試しオフィス



外観



執務スペース

注)お試しオフィス:

空き施設等を活用して市町が整備した短期間の体験勤務ができるオフィス

《トピックス》

■ 神石高原町にドローンコンソーシアムが設立されました

サテライトオフィス・モニターツアーに参加した小型無人航空機(ドローン)事業者と神石高原町が、ドローン技術を活用した防災対策を進めるため、共同事業体(ドローンコンソーシアム)を設立し、住民が支え合う、新しいまちづくりを推進

【コンソーシアムの概要】

| | | |
|------------|---|---|
| 名 称 | 神石高原町ドローンコンソーシアム | |
| 設 立 日 | 令和元年10月3日 | |
| 主な 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における行方不明者の捜索や孤立集落への物資輸送等の初動迅速化・合理化に向けたドローン技術の実証実験 ・ドローン活用に係る町関連団体、地場企業へのビジネス創出支援 ・参画企業と地場企業とのマッチングによる新たな雇用の創出 | |
| 構成団体 | <ul style="list-style-type: none"> ○神石高原町 ○油木協働支援センター ○慶應義塾大学SFC研究所 ○楽天(株) | <ul style="list-style-type: none"> ○(株)アイ・ロボティクス ○ドローン・ジャパン(株) ○パーソナルプロセス&テクノロジー(株) ○国立研究開発法人 防災科学技術研究所 |



ドローンコンソーシアム設立発表会



テスト飛行実施風景

◇ 「お試しオフィス」整備市町(注)



【神石高原町】 お試しオフィス



外観



執務スペース

注)お試しオフィス:

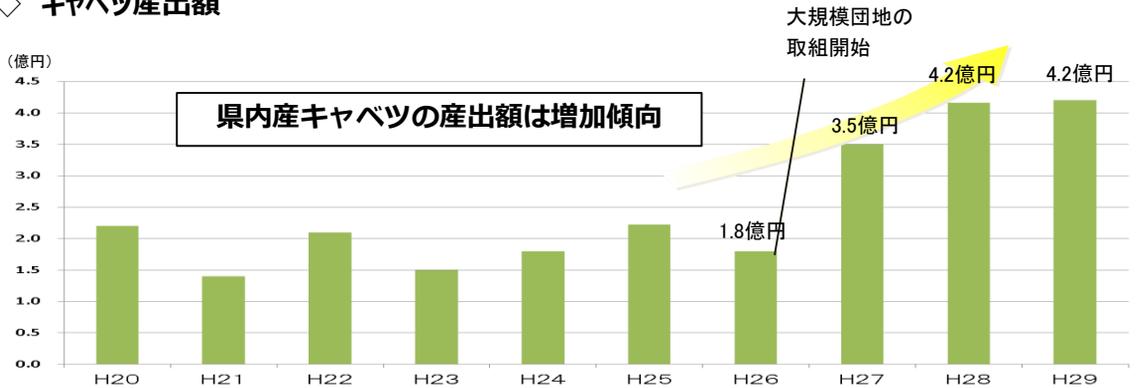
空き施設等を活用して市町が整備した短期間の体験勤務ができるオフィス

《トピックス》

■ キャベツの産出額が大きく増加しています

作業効率や排水対策・土づくりを考慮した基盤整備により、一定規模のまとまった低利用農地をキャベツ団地に再生し、生産から販売まで関係者が一体となった連携体制のもとで県域ルーに向けた取組を推進し、キャベツの産出額が大きく増加

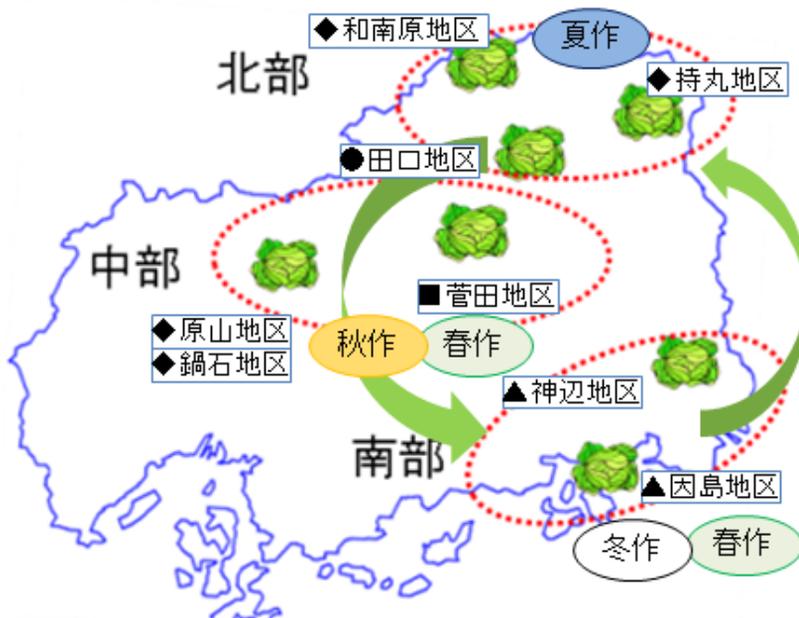
◇ キャベツ産出額



◇ 県内自給率



◇ リレー出荷による周年供給



お好み焼きやカット野菜の原料として供給



大規模キャベツ団地

《トピックス》

■ GI登録により県内農林水産物のブランド価値が高まっています

庄原市などで構成される「あづま蔓(づる)振興会」がブランド化を進めている「比婆牛」と「豊島漁業協同組合」の伝統漁法と鮮度管理で高い評価を受けている「豊島タチウオ」が令和元年9月に、県内では初めて知的財産としてGI(注)登録

【登録の概要】

| | | |
|------------|---|---|
| 名 称 | 比婆牛 | 豊島(とよしま)タチウオ |
| 登 録 日 | 令和元年9月9日 | 令和元年9月9日 |
| 生産者団体 | あづま蔓振興会 | 豊島漁業協同組合 |
| 登録農林水産物の特性 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本最古の蔓牛のひとつである「岩倉蔓」の血統を有する黒毛和牛の牛肉 ・不飽和脂肪酸割合について遺伝的に高い能力を持っているため、「比婆牛」の肉質は口どけがよく、やわらかい舌触りが特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・豊島の漁師に受け継がれてきた一本釣り漁法、鮮度保持技術により、傷のない美しい外観、高い鮮度を有しているタチウオ ・その見た目の美しさ、鮮度の良さが市場から高く評価 |



比婆牛



比婆牛PRブース



豊島タチウオ



豊島タチウオのロゴ

(※画像は呉市HPより)

注) GIについて

■ 地理的表示保護制度

伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地等の特性が、品質等の特性に結びついている製品の名称(地理的表示)を知的財産として登録し、保護する制度

■ 制度の特徴

- ・原則として、登録された基準を満たす製品のみ地理的表示が使用される。
- ・品質を守るもののみが市場に流通し、GIマークにより、他製品との差別化が図られる。
- ・不正使用は行政が取り締まるため、訴訟等の負担なく、自らの製品のブランド価値を守ることができる。
- ・生産者は当該生産者団体の構成員となれば地理的表示を使用でき、地域共有の財産として保護される。



(3) 安心を支える 生活環境 づくりR2 主な事業費 **28.7 億円****目指す姿**

「中山間地域振興計画」(抜粋)

- ◆ 医療・子育て・介護・生活交通など、日常生活に直結した課題について、地域や関係団体、企業、行政が連携して、安心な仕組みを構築し、心豊かに幸せを実感できる生活環境が整っています。
- ◆ また、里山・里海の豊かな自然環境や水源かん養などの機能が維持・保全される とともに、災害を未然に防止し、局地的豪雨や高潮等による災害時の被害を最小限にするための、総合的な防災対策の仕組みや基盤が整っています。

《目指す姿を実現するための施策》**地域医療****① 地域医療提供体制の確保**

主な枠組み

- へき地医療に係る医師等確保対策の推進
- へき地医療に係る医療連携体制の確保

包括ケア**② 地域包括ケアシステムの強化**

主な枠組み

- 地域包括ケアシステムの強化

子育て支援**③ 子育て環境の充実**

主な枠組み

- 多様な形態・内容による養育サービスの提供
- 子育てにやさしい生活環境づくり

居住環境**④ 居住環境の整備**

主な枠組み

- 持続可能な生活交通体系の構築と生活航路の維持
- デジタル技術を活用した暮らしの向上

環境保全**⑤ 里山・里海の環境保全**

主な枠組み

- 森林の公益的機能の維持・発揮
- 健全な水循環等の確保

防災・基盤**⑥ 災害に強い地域づくり**

主な枠組み

- 県民の防災・減災意識の醸成
- 防災対策事業の推進

① 地域医療提供体制の確保

高齢化が進む中山間地域の医師不足の状況を踏まえ、地域に必要な医療体制を確保するため、若手医師の確保などに取り組むとともに、無医地区等への巡回診療など、へき地医療等の医療提供体制の維持・確保を図る。

| 主な指標 | 目標水準 |
|-------------------------|---|
| ◇ 医療施設従事医師数 (全域過疎市町) | (H30) 195.1人(人口10万人対) ⇒ (R2) 前回(H30)調査比より増 |

【施策の主な枠組み】

● へき地医療に係る医師等確保対策の推進, 医療連携体制の確保

中山間地域等に就業する医師の確保を図るため、県地域医療支援センター等による医師確保に向けた取組を推進するとともに、無医地区等における安心な医療サービスの提供に向けて、へき地医療拠点病院による巡回診療など、必要な医療提供体制を確保

■ 地域医療介護総合確保事業【一部新規】 ※一部 494百万円

- ・広島大学ふるさと枠・岡山大学地域枠の医学生への奨学金の貸付
- ・広島大学医学部寄付講座の運営支援
- ・地域医療支援センター等による医師確保
- ・中山間地域等への就業促進を目的とした歯科衛生士の就学支援

■ 地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部 61百万円

- ・へき地医療拠点病院の機能連携及びへき地診療所の運営への支援

② 地域包括ケアシステムの強化

中山間地域をはじめ県内全ての地域において、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケアシステムを強化する。

| 主な指標 | 目標水準 |
|---|---|
| ◇ 地域包括ケアシステム構築日常生活圏域数 (評価指標による評価が基準を満たす圏域) | (H30) 125圏域 ⇒ (R2) 125圏域 ※ 中山間地域以外の圏域も含む |

【施策の主な枠組み】

● 地域包括ケアシステムの強化

高齢化や医療、介護の社会資源等の地域特性に応じた地域包括ケアシステムを着実に推進

■ 地域医療介護総合確保事業【一部新規】 ※一部 82百万円

- ・地域包括ケアシステムの強化に向けた人材育成・アドバイザー派遣等の重点的な市町支援

③ 子育て環境の充実

子育て環境は、若い世代の定住を促進する上で重要な要素であるため、中山間地域ならではの豊かな自然環境を活かし、多様化するニーズに応じた質の高い保育サービスの確保・充実を図るとともに、多様な主体の連携によって、どこに住んでいても安心して子育てできる環境づくりに市町と一体となって取り組む。

| 主な指標 | 目標水準 |
|----------------------------|---------------------------|
| ◇ 地域子育て支援拠点設置数 (全域過疎市町) | (H30) 38箇所 ⇒ (R2) 現行水準を確保 |

【施策の主な枠組み】

● 多様な形態・内容による養育サービスの提供

豊かな自然環境を活用した体験活動を取り入れた保育・幼児教育の普及を図るとともに、多様な保育サービス等の充実を図るため、認定こども園等の整備、保育士等の人材確保を実施

■ 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業【一部新規】(ひろしま型自然保育推進事業) ※一部 19百万円

- ・ひろしま自然保育認証制度に基づく認証団体の支援
- ・幼児教育・保育の無償化の対象とならない認可外の認証団体に対する運営費の補助

■ 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業【一部新規】 ※一部 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・保育士人材バンクの運営による潜在保育士等と保育施設のマッチング
- ・認可外保育施設を利用した場合の負担増に対する支援 等

● 子育てにやさしい生活環境づくり

安心して妊娠・出産・子育てできる環境整備に向けて、子供と家庭に関する切れ目のない相談・支援体制を構築するとともに、子育て家庭に対する情報提供や市町が実施する関連事業の取組を支援

■ 地域子ども・子育て支援事業 ※一部 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・全ての家庭を対象として、地域子育て支援拠点や利用者支援事業等の子育て支援を充実
- ・地域子育て支援拠点の継続的な運営に必要な改修や設備整備に要する費用を補助

■ ひろしま版ネウボラ構築事業 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・ひろしま版ネウボラのモデルの全県展開に向けた、ネウボラの理念の共有や基本型の導入に係る経費補助や課題解決のためのアドバイザー派遣等の支援を実施
- ・人材確保のためのセミナー等の開催やガイドラインに沿った研修の実施

④ 居住環境の整備

中山間地域における通院や通学、買い物などの日常生活に不可欠な生活交通である路線バスや航路等について、移動手段を持たない高齢者等の生活交通を確保する観点から、国と連携して市町や交通事業者の取組を支援する。

また、暮らしに関わる様々な分野にデジタル技術を積極的に取り込むことにより、中山間地域における暮らしを持続可能なものにするための市町の取組を支援する。

| 主な指標 | 目標水準 |
|-----------------------|--------------------------|
| ◇ 路線バス等の生活交通が維持された市町数 | (R1) 全中山間市町 ⇒ (R2) 現行を維持 |

【施策の主な枠組み】

● 持続可能な生活交通体系の構築と生活航路の維持

地域の暮らしや経済活動を支える広域的な生活交通を維持・確保するため、国や市町と連携した路線や航路等の支援や鉄道網を活用した地域の魅力向上等を支援

■ 鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業【新規】 27百万円

- ・鉄道を核とした地域交通の利便性向上等に取り組む市町を支援
《対象路線》 JR芸備線, JR福塩線
- ・移動ニーズを把握するための実態調査 等

■ 生活交通確保対策事業 452百万円

- ・地域の暮らしや経済活動を支える広域的な生活交通を維持・確保するため、国や市町と連携し、広域的・幹線的な事業者バス路線を支援
- ・地域間幹線系統への支援(国・県), 広域生活交通路線への支援(県・市町)

■ 市町生活交通支援事業 133百万円

- ・日常生活に必要な生活交通を維持・確保するため、路線バスやデマンド交通等の運行により効率的で持続可能な生活交通体系の再編・維持に取り組む市町を支援
- ・市町が運行する路線バス, デマンド交通への支援

■ 離島交通対策事業 90百万円

- ・離島住民にとって必要不可欠な本土への唯一航路を維持するため、国の補助制度を補完して、離島航路所在市町を支援

■ 生活航路維持確保対策事業 94百万円

- ・県民の暮らしや経済活動を支える広域的な生活航路を将来にわたって安定的に確保するため、市町と連携し、適正な運航形態の維持に必要な経費の一部を補助
- ・離島の暮らしの維持に不可欠な航路への支援
- ・架橋で結ばれた地域の経済活動の維持に不可欠な時間短縮効果に優れた航路への支援

● デジタル技術を活用した暮らしの向上

生活に身近な分野において、中山間地域の課題解決に資する、デジタル技術を活用した新たなサービスを導入しようとする市町を支援し、中山間地域における取組モデルを創出

■ デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業【新規】 100百万円

- ・デジタル技術を活用したサービスを通じて、身近な生活課題等の解決を図る市町のモデル的な取組を支援

■ 広島県デジタルトランスフォーメーション^(注)推進事業【新規】 ※一部 11百万円

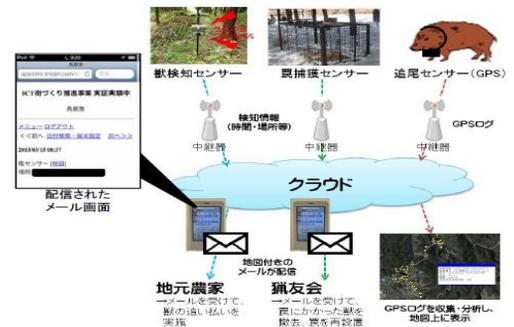
- ・中山間地域に対する外部アドバイザーの派遣
- ・市町相談機能の強化 等

注) デジタルトランスフォーメーション
2004年にスウェーデンのストールマン教授が提唱した「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」という概念。DXと表記。

事例 ～ センサーネットワークによる獣害抑制

- 水田周辺に獣検知センサー、罠捕獲センサーを設置し、鳥獣の検知情報をクラウドを介して地元農家や猟友会にメール配信し、迅速な追い払いや捕獲等を実現

⇒ 獣害被害の軽減による稲作収入の増大



事例 ～ ドローンを活用した防災対策

- ドローンを活用して、防災情報の共有や災害時における緊急物資の配送、安否確認など、点在集落間のネットワークシステムを確立し、生活の安全・安心の維持確保を実現

⇒ 災害から身を守る早めの避難行動に直結



⑤ 里山・里海の環境保全

森林の有する公益的機能の維持・発揮に向けて、多様な主体による自主的・継続的な森林保全活動を各地域へ拡大させ、県民参加の森づくりを進める。

また、地域の課題解決にもつなげる環境保全活動を推進するための人材育成等を進め、里山・里海を対象とした県民の自主的な活動の促進を図る。

| 主な指標 | 目標水準 |
|-----------------|------------------------------|
| ◇ 森林ボランティア活動延人数 | (H30) 75,911人 ⇒ (R2) 80,000人 |
| ◇ 環境保全活動参加者数 | (H30) 1,208人 ⇒ (R2) 2,150人 |

【施策の主な枠組み】

● 森林の公益的機能の維持・発揮

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、県民全体で森林を守り育てる事業を実施

■ひろしまの森づくり事業 ※基金積立を除く 996百万円

- ・県民生活への影響が大きいと想定される森林の集中的な整備等を実施
- ・森林資源の利用促進に向けた、木造建築物における県産材利用拡大の推進
- ・新たな森の守り手の育成に向けた、小規模林業経営者や地域住民等が自主的に行う森林整備を支援
- ・市町と連携した取組内容や成果の広報による、県民理解の促進 等

● 健全な水循環等の確保

里山バイオマスの促進や災害廃棄物を含む海ごみ対策等、地域の特性やライフスタイルに応じた環境保全活動を推進するための人材育成や仕組みを構築し、地域における自主的な活動を促進

■里山バイオマス利用促進事業 7百万円

- ・未利用材をバイオマス燃料として地域内で活用するための仕組みづくりに向けた立ち上げ支援

■産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部 56百万円

- ・海ごみの一斉清掃活動の推進や市町の海ごみ対策への支援
- ・海岸漂着ごみ調査 等

⑥ 災害に強い地域づくり

平成30年7月豪雨災害を踏まえ、県民一人ひとりが自ら判断して避難行動をとるために必要となる要素などについて、県民の避難行動に関する研究を継続するとともに、これまでにわかった研究結果や県の初動・応急対応の検証結果を踏まえ、自助、共助、公助にわたる、より効果の高い被害防止策の構築に取り組む。

| 主な指標 | 目標水準 |
|-----------|--------------------------|
| ◇ 自主防災組織率 | (H30) 93.1% ⇒ (R2) 95.0% |

【施策の主な枠組み】

● 県民の防災・減災意識の醸成

県民及び自主防災組織等が災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって県民総ぐるみ運動を推進

■「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業【一部新規】

〔県民の避難行動等の促進〕 <自助>

(県内全域を対象とする関連事業)

- ・ひろしまマイ・タイムラインの作成による防災意識の醸成
- ・VRを活用した教材による土砂災害の疑似体験の実施

〔自主防災組織の活性化〕 <共助>

- ・自主防災組織による避難の呼びかけ体制構築の加速化
- ・自主防災組織の設立及び活性化支援

〔県・市町防災体制の強化支援〕 <公助>

- ・避難所の見える化に向けた検討会の開催
- ・県警システムと県防災システムの連携による災害情報の共有
- ・オペレーションルームの整備

● 防災対策事業の推進

■建設技術者等緊急雇用助成事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・平成30年7月豪雨災害の復旧について、県内建設業者による早急かつ確実な完成を図るため、不足している建設技術者等を確保する事業主を支援

《トピックス》

■ 中山間地域の医療を支える若手医師が育ってきました

中山間地域に必要な医療体制を確保・維持していくため、広島大学や岡山大学と連携して確保・育成してきた「地域医療を志す医学生」が、2年間の初期臨床研修を修了後、中山間地域の指定医療機関等での勤務をスタートしており、配置医師数も年々増加

【地域枠制度の概要】

| | |
|------|--|
| 開設時期 | 平成21年度～ |
| 種別 | ・広島大学 ふるさと枠(R2入学定員：18名) ・岡山大学 地域枠 (R2入学定員：2名) |
| 特色 | <ul style="list-style-type: none"> ➢ 広島県医師育成奨学金貸与 ➢ 地域医療セミナー等による地域医療マインド醸成 |

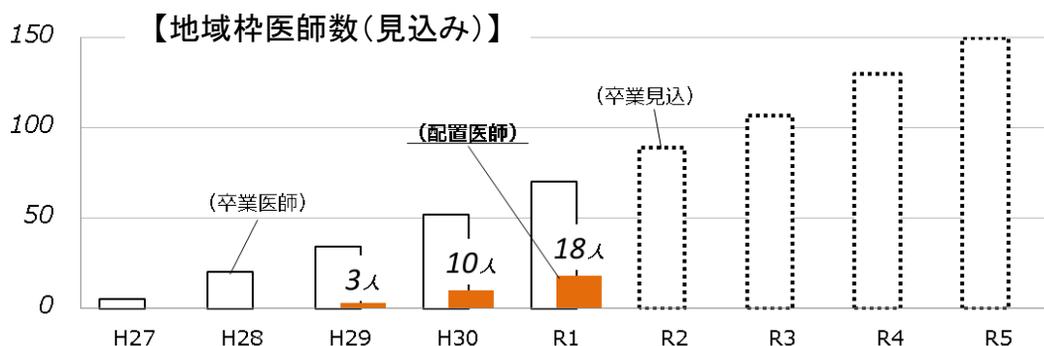


地域医療セミナーで機器の使用体験を行う医学生

中山間地域で勤務している若手医師



地域医療を志す医学生



■ 人工林の間伐により健全な森林環境が蘇っています

「ひろしまの森づくり事業」で、手入れが行き届いていない人工林の間伐を進めることにより、うっそうとしていた林内に太陽光が差し込み、下草で表土が覆われるようになり、森林の水源かん養機能や土砂流出防止機能が回復



(間伐実施前の林内)

・林内に光が入り込まないため、下層植生が生えていない。



(間伐後3年経過した林内)

・間伐により、光が入り込み、下層植生が改善。

【施業面積の推移】

| 年度 | 累計施業面積 (ha) |
|-----|-------------|
| H19 | 549 |
| H24 | 6,389 |
| H30 | 12,001 |

《トピックス》

■ 過疎地域でAI等を活用した生活交通実証実験が始まっています

地域の交通空白地における移動手段の確保や観光資源への交通機能の強化を図るため、庄原市では、産学官が連携し、MaaSの実用化に向けて、AIを活用した予約や運行管理を行うAIデマンド交通のほか、観光地内の回遊手段としてグリーンスローモビリティ(GSM)の導入を行うMaaS実証実験を実施

【検討・実証の概要】

| | |
|------|--|
| 実施主体 | 先進過疎地対応型MaaS検討会（庄原MaaS検討会） ・構成団体 庄原商工会議所、備北交通、庄原市、庄原市観光協会、 呉工業高等専門学校、NTTドコモ中国支社他 |
| 内容 | ①観光二次交通 ・広島市内～庄原市街地～帝釈峡へのツアーを土日祝運行 ・AIデマンド、GSM試験導入 ②生活交通 ・市街地中心部と本村・峰田地区を1日2往復運行 ・AIデマンド ・定額制度 |

■ MaaS (Mobility as a Service)

・情報・通信・コミュニケーション技術を活用し、電車・バスなどの交通手段や人々の移動を「1つのサービス」としてとらえ、シームレスにつなぐ、新たな「移動」の概念

■ AIデマンド

・利用者の乗降要望に対して、AIを使って効率的な車両・ルート(乗り合わせる組合せ)を算出して、運行する仕組み

■ グリーンスローモビリティ (GSM)

・電動で、時速20km未満で公道を走る、4人乗り以上のモビリティ

①観光二次交通



デマンド車両

②生活交通



グリーンスローモビリティ

【実証プロジェクト】

- ✓ 庄原市 ～先進過疎地対応型MaaS検討・実証プロジェクト
- ✓ 府中市 ～中須地区乗合タクシー実証実験

《参考》

- ✚ 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)
- ✚ 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

《参考》 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)

(単位:百万円)

| 区分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局名 | |
|----------|--------------|-----------------------------------|------|-------|----|
| 人づくり | 協働・連携・交流 | ひろしま里山・人材力加速化事業 | 一部新規 | 38 | 地域 |
| | 協働・連携・交流 | ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト | | 19 | 地域 |
| | 協働・連携・交流 | 中山間地域活性化推進費(集落実態調査等) ※一部 | 一部新規 | 27 | 地域 |
| | 協働・連携・交流 | 中国地方中山間地域振興事業 | | 1 | 地域 |
| | 協働・連携・交流 | 地域共生社会推進事業 ※一部 | 新規 | 1 | 健康 |
| | 協働・連携・交流 | 被災者支援地域支え合いセンター・こころのケアチーム運営事業 ※一部 | | 75 | 健康 |
| | 協働・連携・交流 | 「山・海・島」体験活動ステップアップ事業 | | 37 | 教育 |
| | 教育 | 中山間地域の次世代を担うリーダーの育成 | | (非予算) | 教育 |
| | 教育 | 魅力ある高校づくり推進事業 | | 7 | 教育 |
| | 教育 | メキシコ選手団等事前合宿受入推進事業 ※一部 | 一部新規 | 74 | 地域 |
| | 教育 | 東京2020オリンピック聖火リレー等実施事業 ※一部 | 一部新規 | 3 | 地域 |
| | 定住 | ひろしまスタイル定住促進事業 | | 88 | 地域 |
| | 定住 | 空き家活用検討事業 | | 8 | 土木 |
| 小計 | | | 378 | | |
| 仕事づくり | 元気な農林水産業 | 企業連携型農業参入促進事業 | | 24 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 経営力向上支援事業 | 一部新規 | 86 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 新規就農者育成交付金事業 | | 301 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 農業ビジネス経営力向上事業 | | 10 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 農地中間管理事業(基金積立除く) ※一部 | | 182 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 農地集積加速化支援事業 | | 128 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | ひろしま農業創生事業 ※一部 | | 43 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 農産物生産供給体制強化事業 【2月補正を含む】 | 一部新規 | 441 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 家畜人工授精事業 | | 28 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 広島和牛経営発展促進事業 | | 14 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 畜産競争力強化対策事業 【2月補正】 | 新規 | 74 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 森林整備地域活動支援事業 | | 26 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 森林経営管理推進事業(基金積立除く) ※一部 | 一部新規 | 85 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 地域森林計画編成費 ※一部 | 一部新規 | 24 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 林業・木材産業等競争力強化対策事業 【2月補正を含む】 | 一部新規 | 221 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 二ホンジカ被害拡大抑制対策事業 | 新規 | 37 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 瀬戸内水産資源増大対策事業 | | 40 | 農林 |
| | 元気な農林水産業 | 広島かき養殖安定化対策事業 | | 10 | 農林 |
| 元気な農林水産業 | ひろしま地産地消推進事業 | | 5 | 農林 | |
| 元気な農林水産業 | 6次産業化総合支援事業 | | 67 | 農林 | |

(単位:百万円)

| 区 分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局 名 | |
|---------|--------------|---------------------------------|-------|-------|----|
| 仕事づくり | 元気な農林水産業 | 中山間地域等直接支払事業 | 2,283 | 農林 | |
| | 元気な農林水産業 | 鳥獣害に強い集落等育成推進事業 | 121 | 農林 | |
| | 元気な農林水産業 | 農業・農村多面的機能支払事業 | 953 | 農林 | |
| | 事業展開・創業支援 | チャレンジ・里山ワーク拡大事業 | 35 | 地域 | |
| | 事業展開・創業支援 | 中山間地域外部人材活用支援事業 | 新規 | 8 | 地域 |
| | 事業展開・創業支援 | 企業立地促進対策事業 ※一部 | | 172 | 商工 |
| | 観 光 | 尾道松江線周辺地域活性化促進事業 | | 1 | 地域 |
| | 観 光 | 観光地ひろしま推進事業 ※一部 | 一部新規 | 183 | 商工 |
| | 観 光 | 広島島根連携・冬季誘客促進事業 | | 15 | 商工 |
| | 小 計 | | | 5,616 | |
| 生活環境づくり | 地域医療 | 自治医科大学関係費 | 132 | 健康 | |
| | 地域医療 | 医療型短期入所施設補助事業 | 5 | 健康 | |
| | 地域医療 | 地域医療体制確保事業 (へき地医療等) ※一部 | 61 | 健康 | |
| | 地域医療 | へき地医療対策費 (へき地等巡回診療費) | 6 | 健康 | |
| | 地域医療 | 医療施設整備費補助金 (へき地医療拠点病院設備整備等) ※一部 | 98 | 健康 | |
| | 地域医療 包括ケア | 地域医療介護総合確保事業 ※一部 | 一部新規 | 576 | 健康 |
| | 子育て支援 | 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業 ※一部 | 一部新規 | 19 | 健康 |
| | 居住環境 | デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業 | 新規 | 100 | 地域 |
| | 居住環境 | 広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業 ※一部 | 新規 | 11 | 総務 |
| | 居住環境 | 鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業 | 新規 | 27 | 地域 |
| | 居住環境 | 生活航路維持確保対策事業 | | 94 | 地域 |
| | 居住環境 | 離島交通対策事業 | | 90 | 地域 |
| | 居住環境 | 生活交通確保対策事業 | | 452 | 地域 |
| | 居住環境 | 市町生活交通支援事業 | | 133 | 地域 |
| | 居住環境 | 交番・駐在所整備事業 ※一部 | | 6 | 警察 |
| | 環境保全 | ひろしまの森づくり事業 (基金積立除く) ※一部 | | 996 | 農林 |
| | 環境保全 | 里山バイオマス利用促進事業 | | 7 | 環境 |
| | 環境保全 | 産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部 | | 56 | 環境 |
| | 小 計 | | | 2,870 | |
| 合 計 | | | 8,863 | | |

注) ・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関わりの深い部分を対象としている。

《参考》 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

(単位:百万円)

| 区 分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局 名 | |
|---------------------------------|-----------------|-----------------------------------|------|-------|----|
| 人 づ く り | 協働・連携・交流 | 地域共生社会推進事業 ※一部 | 新規 | 10 | 健康 |
| | 協働・連携・交流 | 被災者支援地域支え合いセンター・こころのケアチーム運営事業 ※一部 | | 68 | 健康 |
| | 協働・連携・交流 | けんみん文化祭開催事業 | | 24 | 環境 |
| | 教 育 | 小中学校教育環境充実支援事業 | | 14 | 教育 |
| | 教 育 | 広島県「教師養成塾」事業 | | 3 | 教育 |
| | 教 育 | メキシコ選手団等事前合宿受入推進事業 ※一部 | 一部新規 | 12 | 地域 |
| | 教 育 | 東京2020オリンピック聖火ルー等実施事業 ※一部 | 一部新規 | 123 | 地域 |
| | 教 育 | スポーツを活用した地域活性化推進事業 ※一部 | 一部新規 | 53 | 地域 |
| | 教 育 | 広域公園管理費 | | 296 | 土木 |
| 仕 事 づ く り | 事業展開・創業支援 | 地域産業IoT等活用推進事業 ※一部 | 一部新規 | 485 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | イノベーション人材等育成・確保支援事業 ※一部 | 一部新規 | 109 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | 創業・新事業展開等支援事業 | | 298 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | 緊急時レジリエンス環境整備事業 | 新規 | 26 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | 小規模事業経営支援事業費補助金 | | 2,390 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | 企業立地促進対策事業 ※一部 | | 934 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | 女性の活躍促進事業 | | 103 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | 男性の育児休業等促進事業 | | 6 | 商工 |
| | 事業展開・創業支援 | 働き方改革推進事業 ※一部 | | 26 | 商工 |
| | 観 光 | 観光地ひろしま推進事業 ※一部 | 一部新規 | 656 | 商工 |
| 生 活 環 境 づ く り | 地 域 医 療 | 地域医療体制確保事業(救急医療等) ※一部 | | 280 | 健康 |
| | 地 域 医 療 包括ケア | 地域医療介護総合確保事業 ※一部 | 一部新規 | 3,727 | 健康 |
| | 包括ケア | 保険者機能強化支援事業 | | 20 | 健康 |
| | 包括ケア | 社会福祉人材育成センター設置事業 | | 14 | 健康 |

(単位:百万円)

| 区分 | 事業名 | 新規等 | 事業費 | 局名 | |
|---------|-------|---------------------------|-------|-----|----|
| 生活環境づくり | 子育て支援 | 「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト | 69 | 教育 | |
| | 子育て支援 | 地域子ども・子育て支援事業 ※一部 | 1,117 | 健康 | |
| | 子育て支援 | 多様な保育サービス充実事業 ※一部 | 1,065 | 健康 | |
| | 子育て支援 | 幼稚園機能充実支援事業 ※一部 | 182 | 環境 | |
| | 子育て支援 | 保育対策等促進事業 | 106 | 健康 | |
| | 子育て支援 | 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業 ※一部 | 一部新規 | 196 | 健康 |
| | 子育て支援 | ひろしま子育て応援事業 ※一部 | 22 | 健康 | |
| | 子育て支援 | ひろしま版ネウボラ構築事業 | 一部新規 | 112 | 健康 |
| | 子育て支援 | 地域学校協働活動推進事業 | 62 | 教育 | |
| | 子育て支援 | 子育て支援従事者の育成・資質向上事業 | 20 | 健康 | |
| | 子育て支援 | 寄附を活用した子育て応援事業 | 3 | 健康 | |
| | 居住環境 | 魅力ある「まちなみづくり」支援事業 | 一部新規 | 7 | 土木 |
| | 環境保全 | 国定公園等整備事業 | 135 | 環境 | |
| | 環境保全 | 公園施設整備事業 | 8 | 環境 | |
| | 環境保全 | 公園施設維持修繕事業 | 100 | 環境 | |
| | 環境保全 | 中央森林公園施設改修事業 | 22 | 環境 | |
| | 環境保全 | 狩猟者育成事業 | 8 | 環境 | |
| | 環境保全 | 生物多様性保全推進事業 | 7 | 環境 | |
| | 環境保全 | 生活排水処理対策推進事業 | 116 | 環境 | |
| | 環境保全 | 瀬戸内海環境保全推進事業 ※一部 | 1 | 環境 | |
| | 環境保全 | 産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部 | 222 | 環境 | |
| | 環境保全 | 災害廃棄物処理対策市町等連携事業 | 10 | 環境 | |
| | 防災・基盤 | 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業 | 一部新規 | 513 | 危機 |
| | 防災・基盤 | 建設技術者等緊急雇用助成事業 | 21 | 土木 | |
| | 防災・基盤 | インフラ長寿命化技術活用促進事業 | 14 | 土木 | |

注)・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関連する部分を対象としている。

(合計:13,814 百万円)